

仮名手本

天下御免

～大商人への道～





大豪商を目指せ!

江戸時代、元禄年間の商人となって日本一の豪商を目指す。『天下御免』は、そんな風変わりなシミュレーションだ。そして、プレーしてみると、なんとなく違和感があることに気づくハズ。現代人のぼくらと江戸時代の人たちの感覚がまったく違うからだ。たとえば、江戸時代では、幕府要人へのワイロは日常茶飯事で、悪いことでもなんでもなかったらしい。それどころかワイロを贈らないと、商売がやりづらくなったのだ。また、各地の寄港の許可をもらうには、各藩や幕府への寄付という形で、ワイロは必要なものだった。

当時のワイロの仕組みは、各藩への寄付のうち、何割かは要人のフトコロに入るといった形をとっていた。たとえば秋田藩に寄付をすると、家老がそのうちの何割かもらって、残りが秋田藩の財政のために使われたわけ。だから、寄付の金額が多ければ多いほど、幕府や各藩の要人たちは大喜びしたのだ。

でも、調子に乗ってワイロばかり贈っていても、すぐに儲けに結びつくわけではないぞ。そこを忘れないでくれ。寄付をしたら、そのあとはしばらくマジメに働くこと。それを怠ると、ライバル商人にシェアをどんどん奪われてしまうので注意しよう。店の主人であるプレーヤーが汗水流して働かないと、客が減ってしまうのだ。日本一の大商人になるためには、地道な商売も大切だってことを覚えておいてくれ。

さて、辛気くさい話はここまでだ。江戸時代の大豪商たちの豪遊について、読者ちゃんは知ってるかな？

たとえば紀伊國屋文左衛門。初ガツオ1本のために、江戸中の魚問屋の荷をすべて差し止めたことなど、いろんな話が伝わっている。十分大金持ちになったら、読者ちゃんも

◆生きている間にやりたい放題やると、地獄行きはほぼ確実。でも、地獄を怖がってちゃ豪商にはなれない。

負けずに豪遊してほしい。いつまでもマジメに働いてばかりじゃ、このゲームのおもしろさを半分も味わってないことになるからね。

そして、死んだあともいい思いをしたい！なんて人は、よくよく考えて行動することだ。でも、この付録は、死んだあとのエンマさまの判定で地獄行きになってもいいから、とりあえず儲けたいという人のためにある。まずは、浮世の極楽を目指すことが目的なのだ。それを頭に叩き込んだら、さっそく読み進めてくれ。



大商人への近道は地道な商売だ

正直なところ、発売からすでに1ヵ月はたっているのに、お金を儲けるための基礎知識なんかもう身に付けちゃったって人は多いと思う。でも、いまだに儲けられないプレーヤーのために、ここで簡単にポイントを解説しておこう。どれも重要なことなので、赤字になってばかりの人はよく読んでくれ。

まず、編集部が自信をもってオススメする問屋は、「薬問屋」だ。その理由は、扱う商品の品目が少ないこと、商品を生産している港が少なくないこと。そして、どの商品も価格が高いので儲けやすいことの3つだ。薬問屋が扱う品

品名	単価	数量	小計
基礎経費	100	0.08	8
港代	41	0.08	3.28
世帯人運賃	1A	28	28
大響福利用費	1A	15	15
手代運賃	8A	315	2520
総計			2628

創業したてのころは、お遊びの部分よりも、大豪商になり上がるための基礎作りを専念しよう。

目は大量買い付けが難しいけれど、ほぼ間違いなく豪商になれるのだ。

次に、必ず幕府や各藩の要人の屋敷にコマメに顔を出すこと。特に、最初のうちは「大目付」、「勘定奉行」。そして、自分が出入りたい港がある藩の

「家老」のところには出かけていこう。

1〜2ヵ月に一度は手土産を持って行ったり、寄付したりしてくれ。

また、ほかにもいくつか重要なことをコラムにまとめておいたので、しっかり読んでほしいぞ。

高速船で誰よりも早く

最初にするべき船は高速船だ。手持ちのお金が少ない最初のうちは、自転車操業のノリになってしまいがち。少ない利益で商品を少し仕入れて、その利益で再び仕入れる、というワケだ。そんなときには、高速船が威力を発揮してくれる。高速船は積み込める荷物の量は少ないけれど、そのかわり運搬に必要な日数が少ないので、必ず大活躍してくれるはず。また、商品の品切れは、お店のイメージダウンにつながるの、どんなに手持ちのお金が少なくても、高速船でセッセと商品を仕入れてくれ。千石船は、高速船では仕入れ

られる商品の量が少なくても不便だと感じるまでは、まったく作る必要がない。資金が増えて、大量の買い付けができるようになってからでも、遅くはないはずだ。それまでは、高速船を使ってコマメに商品を仕入れて儲けていこう。

品名	単価	数量	小計
基礎経費	100	0.08	8
港代	41	0.08	3.28
世帯人運賃	1A	28	28
大響福利用費	1A	15	15
手代運賃	8A	315	2520
総計			2628

高速船の運搬のスピードには大助かりすることが多いのだ。



悪事に夢中になりすぎない!

幕府要人へのワイロや抜け荷、吉原遊びに味をしめると、ついついヤミツキになってしまうよね。でも、夢中になりすぎるのは要注意だぞ。気づかないうちに、ライバル商人に売上勢力で差をつけられてしまうからだ。また、死んだあとで天国に行きたい人は、やりすぎないように気をつけること。豪商&天国行きを実現するには、地道に働くことも重要なポイントなのだ。忘れないでくれよ。

品名	単価	数量	小計
基礎経費	100	0.08	8
港代	41	0.08	3.28
世帯人運賃	1A	28	28
大響福利用費	1A	15	15
手代運賃	8A	315	2520
総計			2628

金銭は天下のまわりものといったって、肝心な金の商いがへくちゃんにもならない。お客さんをガッチリつかむことも大切なのだ。

大番頭と世話役

プレーヤーに代わって、いろんな仕事を代理でやってくれる大番頭。便利な部下だけど、ホントになんでも委任しちゃうと、とんでもない大赤字になってしまうことがあるので気をつけよう。船頭の管理、冠婚葬祭の金額、金の移動、産物売買などは、プレーヤーが自分でやるほうが無難だ。完全に大番頭に任せるのは、大番頭がへぼいことをやっても困らないくらい大金持ちになってからでも遅くないぞ。また、大番頭に仕事をどれくらい委任できるかどうかは、その能力によって大きく差が出るようなので、最初のうちは番頭を何人か雇ってから決めると安心だ。

世話役選びのほうは、抜け荷に挑戦したい人は特に注意してほしい。抜け荷を売るのは、どうしても世話役の力が必要だからだ。でも、世話役によっては、どんなにおこずかいをあげてもガンとして抜け荷に関わるのを断わり続けることもあるぞ。ゲームが進むにつれてそんな世話役が増えるようなので、最初のうちにやっておくのがいいかもね。

なんでも大番頭任せてるのは禁物。いつの間にか貧乏商人になるぞ。

品名	単価	数量	小計
基礎経費	100	0.08	8
港代	41	0.08	3.28
世帯人運賃	1A	28	28
大響福利用費	1A	15	15
手代運賃	8A	315	2520
総計			2628

「地獄行きになってもいいから、使いきれないほど資金がほしい!」ってな人には、ぜひ抜け荷に挑戦してほしい。たった1回で、数万〜十数万両が確実に儲けられるからだ。でも、下準備や細かな注意点に気を使わないと、アッサリ島流しにあってしまうぞ。慣れるまでは、自分の行動を念入りにチェックしながら実行してくれ。

では、抜け荷の下準備として必要な

大金持ち?

日本橋のお店		宝永元年 御月29日	
売上げ日	85両5分3厘	総在庫量	69924両
今月	11188両5分3厘	総売出量	126900両
前月	1979両5分3厘	借金	0両
今年	29082両2分2厘	借金	2851両1分1厘
前年	77776両5分3厘	借金	164735両1分1厘

成功すれば、間違いなく数万両はフトコロに転がり込んでくる。ヤミツキになるぞ〜!

ことから書いていこう。抜け荷の実行前に必ずやっておいてほしいのは、世話人と船頭にコマメにおこづかいをあげておくこと。いきなり大量におこづかいをやって抜け荷の運搬や買い手探しを頼んでも、聞き入れてくれないからだ。1ヵ月に1両ずつでもいいので、とにかく手なづけるよう心がけてくれ。

次に大切なのは、誰かのウラミを買わないこと。たとえば、番頭や世話人をクビにしたり、商人の制限数いっぱい港の寄港の許可をムリヤリとったりなどだ。ウラミを買ったと、抜け荷を密告されて、すぐに島送りにされるぞ。

そして、船頭を抜け荷港へ送り出したら、北町奉行と南町奉行へ寄付をすること。少なくとも2〜3回は出かけて、1回につき1000両以上は寄付するのだ。すると、たとえ抜け荷がバレても、無罪になったり、1000両くらいの罰金で見逃してもらえるのだ。さらに、岡っ引きや同心にも毎回多めに袖の下

を差し出すこと。抜け荷改めのときに抜け荷の荷物を見落してくれるようになるはずだよ。

最後が、抜け荷の買い手が見つからない場合。抜け荷を買い取るのはヤクザだけで、買い渋ったりするときには、彼らが経営する吉原や賭場などに遊びに行った回数が少ないことが原因だと考えられる。急いで吉原や賭場に何度か出かけて、多めに金を使うのだ。

島流し?

八丈島		宝永元年 御月15日	
売上げ日	78両1分5厘	総在庫量	518849両
今月	5415両5分3厘	総売出量	126900両
前月	5415両5分3厘	借金	0両
今年	52932両1分1厘	借金	71314両5分3厘

抜け荷改めでバレちゃうと、島送り。なんと、最低5年は江戸に帰ることができないのだ。

一 船頭におこづかいをやる

お店の裏手の港		元禄16年 御月15日	
売上げ日	75両2厘	総在庫量	797126900両
今月	879両1分2厘	総売出量	126900両
前月	4780両1分	借金	0両
前年	41886両2分	借金	40447両1分3厘

港に出かけて、特別におこづかいをやる。船頭を抜けて、特別におこづかいをやる。でも、前もって手なづけておかないと、断られちゃうぞ。

二 買わせる商品を決める

お店の裏手の港		元禄16年 御月15日	
売上げ日	75両2厘	総在庫量	797126900両
今月	879両1分2厘	総売出量	126900両
前月	4780両1分	借金	0両
前年	41886両2分	借金	40447両1分3厘

抜け荷できる港は、寧波、広州、アユタヤの3カ所。1商品に絞るか、無指定にして船頭に完全に任せるとどちらかがオススメ。

三 世話人におこづかいをやる

日本橋のお店		宝永元年 御月28日	
売上げ日	76両1分	総在庫量	696015両
今月	11088両5分3厘	総売出量	126900両
前月	1979両5分3厘	借金	0両
今年	28902両5分3厘	借金	4814両1分1厘
前年	77776両5分3厘	借金	40828両2分2厘

世話人に100両以上のおこづかいをあげると、買い手のヤクザを探してくれる。こちらも、前もって手なづけることが重要だ。

四 抜け荷を売る

日本橋のお店		宝永元年 御月28日	
売上げ日	76両1分	総在庫量	696015両
今月	11088両5分3厘	総売出量	126900両
前月	1979両5分3厘	借金	0両
今年	28902両5分3厘	借金	4814両1分1厘
前年	77776両5分3厘	借金	40828両2分2厘

ヤクザに抜け荷を売るときには、買い値をつり上げようなんて考えないほうがいいかも。十分高値で買ってくれるはずだよ。

幕府要人・各藩家老を手なづけろ!!

最初で簡単に説明したけれど、江戸時代では、幕府要人と結びついて大儲けをする商人ってのは、どこにでもいた。とくに元禄年間(1688～1703)は、悪名高い5代将軍徳川綱吉が寺院の建設や改築のために、バンバンお金を使ったので、材木問屋たちの全盛期ともいわれているのだ。もちろん、幕府に深く食い込んだ商人ほど、莫大な利益を手にしたのはいうまでもない。有名な紀伊國屋文左衛門や奈良屋茂左衛門は、どちらも、材木問屋として幕府の役人と深く結びついて大成功したと伝えられている大豪商なのだ。

現代の感覚でワイロと聞くと、なんとなく罪悪感を感じちゃうけれど、何度も書いたように当時の商人にとって

■老中や大目付との付き合いが
少ないと、寄港の許可が遅くな
りやすいようだぞ。

は、ごくごく当たり前のことだった。それを忘れると、マトモに商品を仕入れることもできなくなることがあるので要注意だ。下は岡っ引きから上は老中まで、お金をあげておいてもまず損にはならない。どんなに残り資金が少なくても、できるだけいろんな人にお金をバラまこう。すると、お金をもらった相手は、いつかきっとプレーヤーに得をさせてくれる。これは、江戸時代の商人として生き抜くための、基本的な知識だぞ。

そして、次に覚えておいてほしいのは、特にどんな人物や役職にお金を注ぎ込むべきかというこ

◆結びつきが深くなると、相手のほうから自分の屋敷にお金をせびりにやってくる。

高鍋藩江戸屋敷



焦るでない。高鍋の寄港地いは審議中じゃ。
しばし待て。

高鍋藩家老
51歳 高鍋藩家老

宝永元年 文月 2日

「江戸日記」

高鍋藩

年齢	58 歳
元禄	18 年
家族	5 人
用心棒	11 人
家の取	3 人
船の取	12 人
高鍋	8 人
寄港	5 港

何をしますか
 寄付を申してる
 人数をでてる

売上昨日 77両1分1株
 前月 77両1分1株
 前月 2379両1分2株
 今年 3983両1株
 前年 7777両3分3株

繰上庫量 638265
 繰上容量 1269000
 借入 0
 財布 100%
 金庫 140126両3分2株

とだ。強大な権力をバックボーンに、ワイロで私腹を肥やした人物ということ。田沼意次が有名だけれど、それに近い人物が元禄年間にいた。その名は、萩原重秀だ。ゲーム中でもまず勘定奉行吟味役で登場して、そのあとガンガン出世するので要チェックだ。重秀が相手なら、湯水のように金を使っても決して無駄にならないぞ。

その次に押さえておきたい人物は、側用人の柳沢吉保(よしやす)。吉保は、綱吉の大のお気に入り、かなりの権力を誇っていた人物なのだ。取り入っていても間違いはない。

五

お店の名前

香木屋、悪いようにはせぬ。わしに1000両だして欲しいのだ。

川原喜八郎

53歳 沢田博幸老

だしますか

【はい】

享保16年 6月19日

（寺田屋）

年寄 53歳
新三郎 45年

家族
2人
妻 12人
用心棒 3人
船の政 12人
船の政 6人
常陸地 5人

売上昨日 555両

今日 973両1株

前月 18013両1分3株

前年 100029両1株

前年 229133両2分2株

総在庫量 28196両

総家畜量 119800両

借金 6両

現金 784513両3分

金庫 4187088両3分

このふたりに接近せよ!

側用人 柳沢吉保

側用人というのは、老中より下の役職だけれど、老中と将軍の間を取り次ぐ第一秘書ともいえるべき最重要職だった。将軍への取り次ぎを拒否する権利があった



意外にも、綱吉死後はあっさり権力の座を離れて隠居した。

ので、老中でも頭が上がり
ない存在でもあったらしい。
そのうえ、柳沢吉保は將軍
綱吉のお気に入りだったの
で、史実では老中を飛び越
えて大老にまでなっている。
荻原重秀の貨幣改鑄策を將
軍綱吉に伝えて、重秀と同
じようにワイロで私腹を肥
やしたようだ。

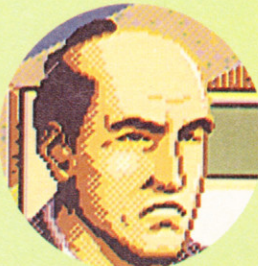
ゲーム中では、側用人以上の役職につくことはないけれど、史実では綱吉を後立てに強力な権勢を誇った人物なので、必ずチェックしておきたいぞ。うっかり忘れないでくれよ。

萩原重秀

本文でも説明したように、あの田沼意次に負けず劣らず商人たちと結びついて私腹を肥やしたのが、萩原重秀なのだ。本当に、ワイロの多さでいろんな認可を許可したり、発展しそうな産業にはガンガン税金をかけたりしていたらしい。

また、重秀は、幕府財政を建て直すために貨幣改鑄策も行なっていて、その機会になんとのおべ26万両ものワイロを受け取っていたという話もある。一代で成り上がった、たき上げの有能官吏だったらしいけれど、

それはいろんな商人と結びついた結果だったとも考えられるのだ。ゲーム中ではスピード出世を果たすことが多いので、しっかり観察していよう。



▲重秀の貨幣改鑄策は、私利私欲のためだったフシもある。

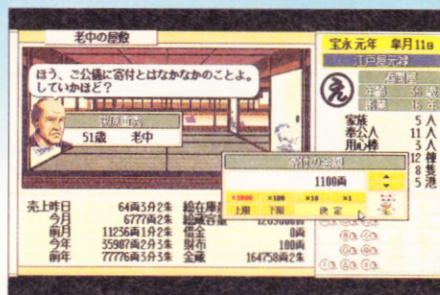
このふたり以外には注目すべき人物は登場しないけれど、重要な役職はいくつもある。その中でも、とりわけ重要な役職を紹介しよう。最初に各役職の関係をざっぱに書くと、老中とその補佐役の若年寄は現代の政治家にあたる。老中、若年寄と將軍の仲介役が側用人。大蔵省や警察庁にあたり、実際に予算の管理や犯罪の取り締まりなどを行っていたのが、勘定奉行、寺社奉行、町奉行の3奉行になる。

また、寺社奉行は將軍の直轄の部署

◆寄付した金額のうち、なんと15～75パーセントが役人のフトコロに入らしい。とんでもない世界だね。

だったため、史実と同じくいきなり大出世をとげることがある。寺社奉行は、一見地味な役職だけど、実は、当時はエリートのためのものだったのだ。出世株をすべて押さえておきたい人は、寺社奉行ともねんごろになっておこう。

ここまで書いた重要人物、注目すべき役職について下のコラムにまとめて



おいたので、ぜひ読んでほしい。プレーに必ず必要な知識なので、キッチリ記憶してくれよ。

老中

老中は、幕府全体や各藩を統轄する、一番偉い役職だ。綱吉のせいで、元禄年間の間は側用人の柳沢吉保のほうが老中より権力を持っていたようなんだけど、



◆ゲーム開始時の大老、堀田景春。数年たつと失脚するのだ。

ゲームではそんなことを気にする必要はない。あくまで最重要職だ。

老中の下には、大目付、勘定奉行、南北の町奉行などがある。それらの役職への影響力を強くしたいなら、老中にもお金を使うべきだ。特に、幕府直轄地の寄港権を手に入れた人は、勘定奉行と同時に注目したい。

また、ゲームを開始したときの老中堀田景春は、綱吉の肝入りの部下だった老中堀田正俊がモデルだと考えられる。金を注ぎ込んで、損にはならないはずだ。

勘定奉行

勘定奉行は、幕府の財政を受け持っていた、いわば現在の大蔵省のようなものだ。この役職についている人とは親密になっておいて損をすることはない。若年寄や大目付など次期老中を狙える要職へ出世するので、ドンドン寄付しておこう。特に、萩原重秀がこのポストについた場合はいくらかもお金を使ってほしい。すると、最終的には必ず老中になるはずだ。

でも、出世間違いなしの人物だけに、ほかの商人からも膨大な金額の寄付を受

け取っているようなので、油断は禁物だ。資金に余裕のあるときは、思いきって多額の寄付をしておこう。そうしないと、すぐに忘れられてしまうぞ。



◆大目付の山之内孝家は、かなり長生きする。仲よくしよう。

若年寄

若年寄は、大目付と同じように、次期老中候補の人物がつく要職だ。また、公儀御用達の発注をする権利を持っているため、いろんな商人が仲よくなりながる役職でもある。でも、公儀御用達の仕事は儲けが少ないことと、大目付と違って各藩や幕府直轄地の港に対する影響力が弱いので、あまり必要性を感じない人は最低限の付き合いでも十分。

ただし、萩原重秀がこの職についたら、数年のうちに老中になるのでコマメに寄付をしておこう。ほった

らかしにしておくと、重秀が老中になるころには忘れられていく可能性が高くなるからだ。若年寄になると、並みの金額じゃ満足しなくなっているぞ。



◆石倉隆矩は、出世の可能性大。仲よくしたい人物だぞ。

大目付

大目付の仕事は各藩の監視で、藩にとっては警察や裁判所といった雰囲気存在だ。そのため藩に対する影響力も大きく、各藩の港の寄港権を得るために、大目付への寄付が必要になるときもある。寄港の許可が遅い藩があったら、何度か大目付の屋敷に足を運ぶと、許可の審議が早まることもあるはずだ。「これは？」と思ったら試してみよう。

また、港には商品の在庫がいっぱいあるのに、仕入量が少なくなったり、まったく仕入れられなくなった

ときにも、各藩の家老のほかに大目付に頼ると解決することもあるようだ。決して船頭の能力の低さだけではないようなので、よく覚えていてくれ。



◆酒井政清も出世しやすい。老中になることもあるはずだ。

生産物別早見表

どの生産物がどこの港で仕入れられるかを一覧表にまとめてみた。とにかく儲けたい人にとって、本当に重宝するはずなので、ぜひ利用してほしいよん。

ここからは、各商品を仕入れられる港や、旧暦が現在の何月になるのかなど、ゲームに役立ちそうなものの一覧表を載せておいた。神無月や霜月は、いったい何月のことなのか？と疑問に思ったときに参考にしてくれ。特に季節によってまったく生産されなくなる商品を扱う問屋は、旧暦のこよみを頭に叩き込んでおきたいぞ。

では、とりあえず生産物別一覧表の見方について説明しよう。最初の項目は生産物名だ。これは、アチコチ探さずにすむように、問屋のタイプごとに

まとめている。次の項目は、その産物を仕入れられる藩とその港の名前、江戸からの日数。1日の生産量という項目は、その港の在庫が1日にどれくらい増えるかを示す。この量が多いほど生産力が高く、港の在庫がなくなる心配をせずにすむわけだ。最後が、全国の総生産量のうち、その港がどの程度の割合を占めているかを示す。“多い”、“ふつう”、“少ない”で表わしているだけだが、簡単な目安にはなるはずだ。

そして、表を使うときに注意してほしいのは、掲載データは、ゲーム開始時のものだってことだ。港によってはプレイヤーやほかの問屋のお金の使い方次第で、まったく新しい産物が登場することがある。さらに、幕府や各藩への寄付をするほど、自分が扱っている商品の生産量が増える仕組みもある。大福帳の交易地図で、産物別に港がマークされる。大豪商を目指すなら、使いこなせるようになってほしいぞ。

みになっている。だから、商品を仕入れたい港の生産量が少ないからってメゲたりせずに、自分の財力で一大生産地に変えてしまおう。

1月	睦月
2月	如月
3月	弥生
4月	卯月
5月	皐月
6月	水無月
7月	文月
8月	葉月
9月	長月
10月	神無月
11月	霜月
12月	師走

江戸の流通地図

元禄16年 寛月15日

産物で別列

港を別列

港の距離

幕府直轄	江戸まで 55日	産物	現在の在庫	生産量/日
高松商人	江戸まで 55日	香	586598貫	144貫
すべての江戸商人		本	452555貫	1212貫
		味噌	296524貫	606貫
		酒	2426651貫	8貫
		ちりめん	188891貫	257貫
		塩	112182貫	175貫

産物名（生産時期）		藩名／港名／江戸までの日数	1日生産量	全国割合
海産物	うなぎ 1月～12月 睦月～師走	水戸藩／那珂湊／15日	1900貫	少
		幕府直轄／浜松／14日	4400貫	普通
		尾張藩／名古屋／21日	2400貫	普通
	するめ 1月～12月 睦月～師走	幕府直轄／小木／90日	640貫	少
		幕府直轄／輪島／101日	1100貫	少
		長州藩／萩／65日	850貫	少
		福岡藩／博多／65日	950貫	少
		対馬藩／府中／71日	950貫	少
		姫路藩／姫路／38日	1550貫	少
	塩 1月～12月 睦月～師走	赤穂藩／赤穂／38日	1800貫	少
		徳島藩／徳島／32日	1200貫	少
		丸亀藩／丸亀／42日	1400貫	少
		福山藩／福山／44日	1400貫	少

産物名(生産時期)	藩名／港名／江戸までの日数	1日生産量	全国割合
塩鮭 6月～11月 水無月～霜月	松前藩／松前／56日	640貫	普通
	弘前藩／青森／57日	0貫	普通
	八戸藩／八戸／50日	0貫	普通
	加賀藩／金沢／96日	0貫	少
鯉節 3月～11月 弥生～霜月	森岡藩／釜石／39日	1200貫	少
	仙台藩／石巻／32日	1000貫	少
	幕府直轄／下田／9日	900貫	少
	幕府直轄／志摩／18日	1000貫	少
	土佐藩／高知／41日	4000貫	普通
のり 1月～12月 睦月～師走	幕府直轄／小湊／8日	1600貫	普通
	幕府直轄／志摩／18日	1400貫	普通
	浜田藩／浜田／69日	1600貫	普通
	土佐藩／高知／41日	600貫	少
干し貝 1月～12月 睦月～師走	仙台藩／石巻／32日	1920貫	普通
	幕府直轄／小湊／8日	1600貫	普通
	幕府直轄／輪島／101日	1920貫	普通
	広島藩／広島／51日	1820貫	普通
ひもの 1月～12月 睦月～師走	松前藩／松前／56日	1450貫	少
	八戸藩／八戸／50日	1500貫	少
	森岡藩／釜石／39日	1500貫	少
	庄内藩／酒田／74日	1500貫	少
	幕府直轄／銚子／11日	1400貫	少
	幕府直轄／小湊／8日	1000貫	少
	富山藩／伏木／98日	1500貫	少
	幕府直轄／下田／9日	1000貫	少
	松江藩／松江／77日	1500貫	少
	土佐藩／高知／41日	1000貫	少
	宇和島藩／宇和島／51日	900貫	少
	唐津藩／唐津／68日	900貫	少

産物名(生産時期)		藩名/港名/江戸までの日数	1日生産量	全国割合
海産物	こんぶ 3月～11月 弥生～霜月	松前藩/松前/56日	640貫	少
		弘前藩/青森/57日	800貫	少
		秋田藩/能代/65日	960貫	少
		庄内藩/酒田/74日	960貫	少
		幕府直轄/小木/90日	640貫	少
		幕府直轄/広州/114日	0貫	なし
酒	清酒 9月～2月 長月～如月	秋田藩/能代/65日	180貫	少
		幕府直轄/銚子/11日	80貫	少
		尾張藩/名古屋/21日	510貫	少
		幕府直轄/堺/35日	2000貫	普通
		和歌山藩/和歌山/32日	1200貫	少
		姫路藩/姫路/38日	900貫	普通
		赤穂藩/赤穂/38日	200貫	少
	焼酎 1月～12月 睦月～師走	弘前藩/青森/57日	480貫	少
		秋田藩/能代/65日	440貫	少
		盛岡藩/釜石/39日	180貫	少
		宇和島藩/宇和島/51日	1540貫	少
		高鍋藩/高鍋/54日	1840貫	少
		薩摩藩/鹿児島/65日	1710貫	少
		幕府直轄/琉球/98日	3240貫	普通
小間物	陶器 1月～12月 睦月～師走	加賀藩/金沢/96日	130貫	少
		尾張藩/名古屋/21日	105貫	少
		和歌山藩/和歌山/32日	110貫	少
		長州藩/萩/65日	140貫	少
		唐津藩/唐津/68日	140貫	少
	煙草 3月～11月 弥生～霜月	徳島藩/徳島/32日	0貫	少
		丸亀藩/丸亀/42日	0貫	普通
		高鍋藩/高鍋/54日	0貫	普通
		薩摩藩/鹿児島/65日	0貫	普通

産物名(生産時期)		藩名／港名／江戸までの日数	1日生産量	全国割合
小 間 物	べっこう 1月～12月 睦月～師走	幕府直轄／下田／9日	30貫	少
		幕府直轄／浜松／14日	15貫	少
		幕府直轄／志摩／18日	11貫	少
		高鍋藩／高鍋／54日	14貫	少
		薩摩藩／鹿児島／65日	2貫	少
		幕府直轄／琉球／98日	91貫	普通
		幕府直轄／アユタヤ／158日	81貫	普通
穀 物	白粉 1月～12月 睦月～師走	富山藩／伏木／98日	190貫	普通
		加賀藩／金沢／96日	90貫	少
		尾張藩／名古屋／21日	110貫	普通
	香 1月～12月	幕府直轄／堺／35日	160貫	多
	茶 3月～11月 弥生～霜月	幕府直轄／浜松／14日	6500貫	普通
		尾張藩／名古屋／21日	3100貫	普通
		幕府直轄／堺／35日	3200貫	普通
	そば粉 3月～11月 弥生～霜月	水戸藩／那珂湊／15日	1200貫	普通
		高田藩／直江津／95日	800貫	普通
		徳島藩／徳島／32日	600貫	普通
	味噌 1月～12月 睦月～師走	幕府直轄／銚子／11日	1100貫	少
		幕府直轄／堺／35日	1000貫	少
		和歌山藩／和歌山／32日	900貫	普通
		赤穂藩／赤穂／38日	1100貫	普通
	醤油 1月～12月 睦月～師走	幕府直轄／銚子／11日	1000貫	少
		和歌山藩／和歌山／32日	900貫	少
		姫路藩／姫路／38日	2800貫	普通
		赤穂藩／赤穂／38日	1400貫	少
	こんにゃく 3月～11月	水戸藩／那珂湊／15日	0貫	多
		長岡藩／寺泊／90日	0貫	少
	酢 1月～12月	幕府直轄／銚子／11日	1300貫	普通
		姫路藩／姫路／38日	2200貫	普通

産物名(生産時期)		藩名/港名/江戸までの日数	1日生産量	全国割合
穀物	砂糖 1月～12月 睦月～師走	徳島藩/徳島/32日	400貫	少
		土佐藩/高知/41日	380貫	少
		薩摩藩/鹿児島/65日	400貫	少
		幕府直轄/琉球/98日	3240貫	多
呉服	麻 6月～11月 水無月～霜月	高田藩/直江津/95日	0貫	少
		富山藩/伏木/98日	0貫	少
		加賀藩/金沢/96日	0貫	少
		丸亀藩/丸亀/42日	0貫	少
		幕府直轄/アユタヤ/158日	840貫	普通
	木綿 1月～12月 睦月～師走	水戸藩/那珂湊/15日	640貫	少
		幕府直轄/小湊/8日	115貫	少
		高田藩/直江津/95日	180貫	少
		富山藩/伏木/98日	110貫	少
		尾張藩/名古屋/21日	220貫	少
		豊岡藩/柴山/86日	315貫	少
		姫路藩/姫路/38日	220貫	少
		丸亀藩/丸亀/42日	190貫	少
		福山藩/福山/44日	290貫	少
		岩国藩/岩国/51日	320貫	少
		府内藩/府内/53日	310貫	少
		仙台藩/石巻/32日	195貫	少
	ちりめん 1月～12月 睦月～師走	長岡藩/寺泊/90日	115貫	少
		高田藩/直江津/95日	165貫	少
		幕府直轄/輪島/101日	35貫	少
		加賀藩/金沢/96日	210貫	少
		宮津藩/宮津/92日	215貫	少
		幕府直轄/堺/35日	210貫	少
		岩国藩/岩国/51日	230貫	少



産物名(生産時期)		藩名/港名/江戸までの日数	1日生産量	全国割合
呉服	絹 1月～12月 睦月～師走	長岡藩/寺泊/90日	82貫	少
		高田藩/直江津/95日	182貫	少
		加賀藩/金沢/96日	183貫	少
		姫路藩/姫路/38日	186貫	少
		広島藩/広島/51日	188貫	少
	紬 1月～12月 睦月～師走	仙台藩/石巻/32日	310貫	少
		高田藩/直江津/95日	280貫	少
		豊岡藩/柴山/86日	110貫	少
		薩摩藩/鹿児島/65日	110貫	少
		幕府直轄/琉球/98日	610貫	普通
油	油 1月～12月 睦月～師走	福山藩/福山/44日	500貫	少
		広島藩/広島/51日	1800貫	普通
		岩国藩/岩国/51日	900貫	少
		延岡藩/延岡/51日	200貫	少
		幕府直轄/寧波/99日	570貫	少
	ろうそく 1月～12月 睦月～師走	庄内藩/酒田/74日	450貫	少
		豊岡藩/柴山/86日	1250貫	少
		長州藩/萩/65日	1050貫	少
		福岡藩/博多/65日	1150貫	少
		延岡藩/延岡/51日	1120貫	少
	火打石 1月～12月 睦月～師走	徳島藩/徳島/32日	610貫	普通
		府内藩/府内/53日	580貫	普通
		幕府直轄/アユタヤ/158日	880貫	普通
	炭 1月～12月 睦月～師走	八戸藩/八戸/50日	200貫	少
		庄内藩/酒田/74日	180貫	少
		幕府直轄/下田/9日	1150貫	普通
		宮津藩/宮津/92日	750貫	少
		延岡藩/延岡/51日	1050貫	少
		高鍋藩/高鍋/54日	1000貫	少

産物名(生産時期)		藩名／湊名／江戸までの日数	1日生産量	全国割合
油	石炭 睦月～師走 1月～12月	水戸藩／那珂湊／15日	1650貫	普通
		長州藩／萩／65日	858貫	少
		福岡藩／博多／65日	1555貫	普通
		唐津藩／唐津／68日	1666貫	普通
染物	藍 睦月～師走 1月～12月	徳島藩／徳島／32日	1050貫	少
		丸亀藩／丸亀／42日	888貫	少
		福山藩／福山／44日	444貫	少
		広島藩／広島／51日	525貫	少
		長州藩／萩／65日	545貫	少
		宇和島藩／宇和島／51日	1020貫	普通
	紫根 睦月～師走 1月～12月	盛岡藩／釜石／39日	640貫	普通
		八戸藩／八戸／50日	340貫	少
		幕府直轄／長崎／77日	242貫	少
		幕府直轄／寧波／99日	340貫	少
	紅花 睦月～師走 1月～12月	仙台藩／石巻／32日	1680貫	普通
		庄内藩／酒田／74日	1280貫	普通
		幕府直轄／広州／114日	1280貫	普通
	漆 睦月～師走 1月～12月	盛岡藩／釜石／39日	1650貫	少
		弘前藩／青森／57日	1280貫	普通
		松江藩／松江／77日	1565貫	普通
		長岡藩／寺泊／90日	1464貫	普通
薬	漢方薬 睦月～師走 1月～12月	浜田藩／浜田／69日	8貫	少
		松江藩／松江／77日	11貫	少
		幕府直轄／長崎／77日	81貫	少
		富山藩／伏木／98日	9貫	少
		幕府直轄／寧波／99日	88貫	少
		幕府直轄／広州／114日	186貫	普通
	薬草 睦月～師走 1月～12月	浜田藩／浜田／69日	28貫	少
		対馬藩／府中／71日	109貫	少

産物名(生産時期)		藩名／湊名／江戸までの日数	1日生産量	全国割合
薬草	薬草 睦月～師走 1月～12月	松江藩／松江／77日	220貫	普通
		幕府直轄／長崎／77日	210貫	普通
		富山藩／伏木／98日	240貫	普通
		幕府直轄／寧波／99日	78貫	少
		幕府直轄／広州／114日	28貫	少
	人参 睦月～師走 1月～12月	薩摩藩／鹿児島／65日	0貫	少
		対馬藩／府中／71日	18貫	少
		松江藩／松江／77日	28貫	少
		幕府直轄／長崎／77日	58貫	普通
		幕府直轄／琉球／98日	108貫	少
		幕府直轄／寧波／99日	205貫	普通
		幕府直轄／広州／114日	245貫	少
紙	和紙 睦月～師走 1月～12月	仙台藩／石巻／32日	788貫	少
		広島藩／広島／51日	805貫	少
		岩国藩／岩国／51日	719貫	少
		宇和島藩／宇和島／51日	787貫	少
		延岡藩／延岡／51日	757貫	少
		高鍋藩／高鍋／54日	742貫	少
		浜田藩／浜田／69日	555貫	少
		宮津藩／宮津／92日	742貫	少
	墨 睦月～師走 1月～12月	和歌山藩／和歌山／32日	32貫	少
		幕府直轄／堺／35日	144貫	多
	硯石 睦月～師走 1月～12月	長州藩／萩／65日	18貫	少
		幕府直轄／長崎／77日	88貫	普通
		宮津藩／宮津／92日	30貫	少
		幕府直轄／寧波／99日	50貫	普通
材木	雑材 睦月～師走 1月～12月	幕府直轄／下田／9日	868貫	少
		幕府直轄／志摩／18日	828貫	少
		盛岡藩／釜石／39日	869貫	少

産物名(生産時期)		藩名／湊名／江戸までの日数	1日生産量	全国割合
材 木	雑材 睦月～師走 1月～12月	丸亀藩／丸亀／42日	868貫	少
		土佐藩／高知／41日	775貫	少
		宇和島藩／宇和島／51日	767貫	少
		府内藩／府内／53日	858貫	少
		秋田藩／能代／65日	859貫	少
		長岡藩／寺泊／90日	565貫	少
		宮津藩／宮津／92日	757貫	少
	杉材 睦月～師走 1月～12月	幕府直轄／志摩／18日	1022貫	普通
		八戸藩／八戸／50日	112貫	少
		延岡藩／延岡／51日	719貫	普通
		弘前藩／青森／57日	119貫	少
		秋田藩／能代／65日	1212貫	普通
		宮津藩／宮津／92日	315貫	少
	桧材 睦月～師走 1月～12月	八戸藩／八戸／50日	181貫	少
		延岡藩／延岡／51日	892貫	普通
		府内藩／府内／53日	1094貫	普通
		高鍋藩／高鍋／54日	822貫	少
		弘前藩／青森／57日	155貫	少
		秋田藩／能代／65日	1484貫	普通
	石材 睦月～師走 1月～12月	和歌山藩／和歌山／32日	915貫	少
		土佐藩／高知／41日	844貫	少
		宇和島藩／宇和島／51日	814貫	少
		唐津藩／唐津／68日	1026貫	少
		幕府直轄／長崎／77日	1016貫	少
		豊岡藩／柴山／86日	1046貫	少
い 禁 制 の 品	阿片 睦月～師走 1月～12月	幕府直轄／広州／114日	2貫	普通
		幕府直轄／アユタヤ／158日	4貫	多
	ガラス器 睦月～師走 1月～12月	幕府直轄／アユタヤ／158日	90貫	多
	洋酒 睦月～師走 1月～12月	幕府直轄／アユタヤ／158日	98貫	多



login 11号特別付録

平成 6 年 6 月 3 日発行(毎月第 1、3 金曜日発行) 第13巻 第11号 通巻191号

Design : Moondog Factory

Printed in Japan

